



住宅防火推進ビデオ

21分 ビデオ価格 63,000円 / DVD 価格 63,000円
〔手話版あり〕

住宅火災から 命を守る

火災発生！ その時あなたは？

建物火災での死亡者数の8割以上が住宅火災です。

私たちは誰もが「自分の家では、絶対に火事を出すことは無い」と信じています。どうすれば住宅火災を減らすことができるでしょうか。

この作品は、火災被害者の声や消火活動の実際、
消防関係者へのインタビュー、さらに全米防火協会など
アメリカ取材を交え、火災警報器など
防災機器について説明します。



監 修

東京理科大学大学院教授／東京大学名誉教授
工学博士 菅 原 進 一

米国取材特別協力

全米防火協会 (NFPA) 工学博士
ジョン R. ホール

◆プロローグ

インタビューアが、町行く人々に火災経験などを聞く。ガスの元栓の締め忘れや天麩羅火災の体験、寝タバコの不始末等。

◆住宅火災現場と死亡者数

炎と煙りが渦巻く火災現場での署員たちの活動ぶり、こうした住宅火災による死亡者数、平成14年中992人となっており、（放火自殺者等を除く）中でも65歳以上の高齢者の数が52.9%も占めているという現実。「ちょっとした不注意」から出火を招いていることが分かる。

◆貴重な最初の2分間

消防本部・予防課長が語る「火災を発見したら大きな声でご近所に知らせなさい。そして迷わず119番することです」「出火してからの2分間で大きな火災になることが防げると思います」監修者の菅原進一先生の火災通報時のアドバイスなどを簡潔に紹介。

◆消火実験

インタビューアが、消火器の使い方を専門家に教わりながら消火実験を体験。

◆身近にある火災要因と対策

私たちの身近にある様々な火災の要因を考え、どのようにすると正しい対処ができるのかを検証します。

◆火災警報器の存在

一般住宅における消火器と火災警報器のかかわりを映像を通してみます。

◆防災先進国アメリカ

菅原進一先生は「アメリカ大統領が率先して防災と防火に力を入れている」と話す。インタビューや映像から、幼児や弱者への防災教育、一般家庭での火災警報器の普及などをアメリカ取材に見ます。

◆住宅用警報機の勧め

横浜市の消防局と福祉局との連携による、煙探知器や熱探知器の普及への取り組みを予防課長へのインタビューを通して紹介。

◆全米防火協会(NFPA)からのメッセージ

ジョン ホール博士は「最悪とも言える状況の火災による死亡者が、感知器の設置、普及で大幅に減少した」と談話。日本の各方面の取り組みに対し、友好国としてのメッセージを贈ってくれた。

■監 修 工学博士／菅原進一
東京理科大学大学院教授
東京大学名誉教授

■協 力 (社)埼玉県消防設備協会
住宅防火対策推進協議会
さいたま市消防本部
朝霞市消防本部
横浜市消防局
埼玉消友会
読売映像株式会社
NFPA 全米防火協会
南ポートランド消防署

■スタッフ	プロデューサー	篠原 修
	監督・脚本	伊吹 良輔
	制作進行	米村 栄子
	撮 影	馬場 良秀
	ク	平田 守
	撮影助手	岡村 正夫
	編集	永沼 慎
	イラスト	シネアート
	コーディネータ	新崎 寿浩
	レポーター	本城 ゆき
	ナレーター	福士 秀樹

●お問い合わせ、お買い上げは…

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101